

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

小児の咳嗽診療ガイドライン 2025

日本小児呼吸器学会/「小児の咳嗽診療ガイドライン」作成委員会（委員長 吉原重美）
診断と治療社 2025 年 5 月 1 日発行

Minds 掲載 無（旧版のみ掲載）

Grading Scale of Strength of Evidence

- A (強) 効果の推定値に強く確信がある
- B (中) 効果の推定値に中等度の確信がある
- C (弱) 効果の推定値に対する確信は限定的である
- D (とても弱い) 効果の推定値はほとんど確信できない

Grading Scale of Strength of Recommendation

- 1 行うこと（行わないこと）を推奨する（強い推奨）
- 2 行うこと（行わないこと）を提案する（弱い推奨）

■1 麦門冬湯

疾患:

乾性咳嗽

引用など:

渡邊直人, 他. 咳感受性の亢進している気管支喘息患者に対する麦門冬湯の効果の検討. アレルギー 2003;52:485-91.

有効性に関する記載ないしその要約:

『第4章咳嗽の治療 B.薬物による治療』の『12 漢方薬』の項に以下の記載がある

『麦門冬湯は、咳嗽の誘因となる一酸化窒素（nitric oxide:NO）の増加を抑制し気道炎症を改善する末梢性の鎮咳作用をもつとの報告があり、強い乾性咳嗽や切れにくい喀痰がある際に適応となる。』

■2 麦門冬湯

疾患:

気管支炎の咳嗽

引用など:

野中智裕, 他. 小児の持続性咳そうにおける麦門冬湯の使用経験. *日本小児東洋医学会誌* 2004;20:15-21.

有効性に関する記載ないしその要約:

『第4章咳嗽の治療 B.薬物による治療』の『12 漢方薬』の項に以下の記載がある
『乳児～学童期の気管支炎の咳嗽に対して, 麦門冬湯とデキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物 (メジコン) の効果を比較したところ, 両者ともに効果は3日以内にみられ, その差はほとんどみられず, 一部, デキストロメトルファンに不応であった例にも麦門冬湯が効果を示したとの報告がある』

■3 柴朴湯

疾患:

気道炎症

引用など:

Egashira Y, et al. A multicenter clinical trial of TJ-96 in patients with steroid-dependent bronchial asthma. A comparison of groups allocated by the envelope method. *Ann NY Acad Sci* 1993;685:580-3.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『第4章咳嗽の治療 B.薬物による治療』の『12 漢方薬』の項に以下の記載がある
『柴朴湯はアレルギー性炎症, 好酸球活性の抑制, 抗ヒスタミン作用, 血小板活性化因子 (platelet-activating factor: PAF) 産生抑止作用などがあり, 気道炎症の抑制により鎮咳作用を示すとされている。成人では喘息患者におけるステロイド薬の使用量を減量できるとの報告もある』

■4 漢方薬

疾患:

咳嗽を伴う急性上気道炎

引用など:

広瀬滋之, 日常よく見る疾患と診療のポイント. 小児科疾患診療マニュアル. 現代出版プランニング, 2006:98-106.

有効性に関する記載ないしその要約:

『第4章咳嗽の治療 B.薬物による治療』の『12 漢方薬』の項に以下の記載がある
『咳嗽を伴う急性上気道炎（一般的なかぜ症候群）に対する漢方治療の例のフローチャートを示す（図4-7）。咳嗽の性状から分類しているが、実際は症状が重複することも多く、合方にして使用することも多い。』

備考:

「表4-19 咳嗽に用いるおもな漢方エキス製剤の一覧表」に麦門冬湯, 清肺湯, 半夏厚朴湯, 参蘇飲, 柴陷湯, 柴朴湯, 小青竜湯, 五虎湯, 麻杏甘石湯とその構成生薬の記載がある。

■5 小青竜湯、五虎湯、麻杏甘石湯

疾患:

急性増悪に伴う咳嗽

有効性に関する記載ないしその要約:

『麻黄にはエフェドリンが含まれており, 気管支拡張作用を有する. 麻黄を含む小青竜湯, 五虎湯, 麻杏甘石湯は急性増悪に伴う咳嗽に有効とされる. 』

■6 漢方薬

疾患:

副作用

引用など:

伊藤隆, 他 漢方薬治療例の評価指標をつくる—「一般用漢方製剤の効能効果」の作成と漢方診療. *日本東洋医学雑誌* 2016;67:184-90.

副作用に関する記載ないしその要約:

『第4章咳嗽の治療 B.薬物による治療』の『12 漢方薬』の項に以下の記載がある

『共通する副作用として、皮膚症状（発疹・発赤・痒み）や消化器症状（食欲不振・胃部不快感・悪心・下痢など）、また、まれではあるが間質性肺炎（咳嗽、発熱、息切れ、肺炎など）、偽アルドステロン症（尿量低下、手足のむくみ、まぶたの重み）、ミオパチー（手足のしびれ、力が入らない）、肝障害（全身倦怠感など）などがあげられる。』

■7 麻黄

疾患:

心疾患, 腎疾患 など (副作用)

副作用に関する記載ないしその要約:

『麻黄は心疾患, 腎疾患など, 多くの疾患を悪化させる可能性が指摘されており, 健常者にもけいれん発作や頭痛, 振戦, 高血圧などを起こす可能性があるため, 小児の使用は避けるべきとの指摘がある. 特に交感神経を刺激することから動悸を助長する可能性があるため, β 2 刺激薬との併用には注意が必要である. 』

■8 柴朴湯、柴陷湯

疾患:

膀胱炎様症状 (副作用)

副作用に関する記載ないしその要約:

『柴朴湯や柴陷湯においては, 膀胱炎様症状（頻尿, 排尿痛）なども特記すべき副作用として注意が必要である』

■9 清肺湯 (山梔子)

疾患:

腸間膜静脈硬化症 (副作用)

副作用に関する記載ないしその要約:

『厚生労働省医薬・生活衛生局は清肺湯に含まれる漢方生薬の山梔子により腸間膜静脈硬化症が現れるおそれがあるとして, 長期投与する場合にあっては定期的に CT, 大腸内視鏡などの検討を行うことが望ましいと報告している. 』